

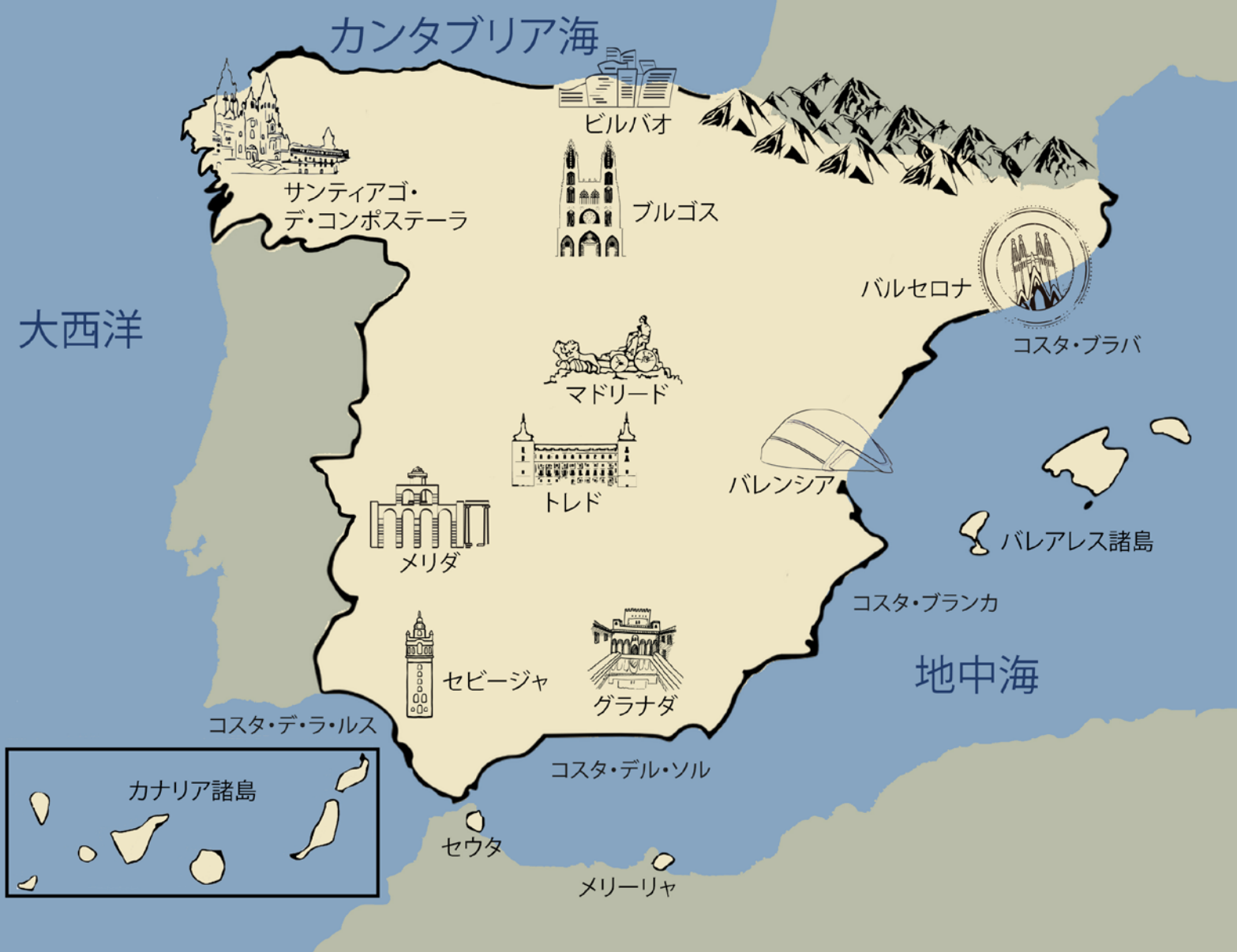
魅力あふれる 小さな村へ



www.spain.info

カンタブリア海

大西洋



産業観光商務省
発行: © Turespaña
制作: Lionbridge
NIPO: 086-18-012-3

無料提供版

このパンフレットは細心の注意を払って制作
いたしましたが、もし誤りがございましたら、
brochures@tourspain.esまでメールでお知らせくだ
さい。今後の改善の参考にさせていただきます。

表紙: プエルト・デ・モガン、ラス・パルマス
裏表紙: カラバカ・デ・ラ・クルス、ムルシア
写真: Costa Cálida Región de Murcia/
@murciaturistica

目次

はじめに	3
白い村	4
北スペインの漁村	8
中世の村	12
ピレネー山中の村	16
銀の道に沿ってある村	19
地中海を望む村	22
驚きがいっぱい、内陸部の村	25
カナリア諸島の伝統的な村	28



スペインへ旅して、小さな村や町を訪ね、そこに息づいている歴史や伝統を実感してみませんか。輝く陽射しと海があなたを待っています。

はじめに

▲ バジョータ海岸
リャネス、アストゥリアス

朗らかで、もてなしの心を持つ人々。美しい風景。どこへ行っても感じられる歴史や文化。スペインの小さな村を訪ねる旅は、忘れがたい思い出になるはずです。

スペイン中のいたるところに、中世のまま時間が止まってしまったような美しい村々があります。そんな村の石畳の通りを歩き、歴史ある建物を訪ねて、そこに伝わる修道士や騎士、あるいは囚われの姫君の伝説の世界を実感してみませんか。

喧騒だらけの日常から数日離れ、リラックスしてみましょう。アンダルシアや地中海沿いの白い村で白壁の家々が創り出す、まるで絵葉書のような美しい景観を楽しんでみてはいかがでしょうか。北スペインの海沿いの漁師村に情緒ある魅力を発見するのもおすすめです。

街角を曲がるごとに、漂う香りを目一杯嗅いでみてください。美味しく健康的な地中海料理はもちろんのこと、各地方ごとに地産の新鮮な海や山の幸を使った美味しい名物料理があります。そういった料理に、世界でも高い評価を得ているスペインのワインを合わせて味わうこともできます。

際立った自然環境がユニークな見どころである村々もたくさんあります。ピレネー山脈の氷河や山々、カナリア諸島の火山帯と観光地化していない鄙びた田舎など、スペインでは自然が主役なのです。

こういった村々は、かつての領主国の人々や歴史を忠実に映す鏡なのです。多様なスペインの文化のルーツを目にする本物の機会となるでしょう。

白い村



▲ グラサレマ
カディス

エキゾチックな雰囲気知られるアンダルシアの違う一面を旅してみませんか。家々の壁が石灰で白く塗られていることから「白い村」と呼ばれている村々を巡り歩く旅はいかがでしょう。バルコニーに飾られた花々や周りを取り巻く自然と真っ白な壁とが創り出す色彩のコントラストが美しい場所です。

白い村は山に囲まれた中に位置し、周りにはオリーブ畑が広がっています。トレッキングをはじめとする様々なアクティビティに理想的な場所です。

ジビエ肉、美味しいワイン、チーズ、原産のオリーブオイルなどを素材とした絶妙な料理を堪能してみるのもいいでしょう。

白い村周遊ルートはカディス山地地域にあり、車での旅に最適です。このルートはカディス県北西部からマラガ県にまたがっています。驚くほど美しい自然が保護されているグラサレマ山脈(生物圏保護区)やロス・アルコルノカレス自然公園などがある地域で、19の町村が点在しています。

山の中腹に築かれた歴史的な町の中心部には、かつてのイスラム統治時代を偲ばせる急勾配の細い路地、それに沿って存在する歴史文化遺産、展望台、あるいは遺跡などがあります。

これらの村のほとんどが数千年前から人が住んでいた場所なので、通常、村の周囲には先史時代の集落跡や古代ローマ人、西ゴート人、ムーア人などの各時代様式の住居跡が見られます。

このルートの始点であり、最初に立ち寄りたいのはアルコス・デ・ラ・フロンテーラです。スペインで最も美しい村のひとつに挙げられるこの村はグアダレーテ川を見下ろす丘の上にあります。壮大な歴史地区が広がるこの村の中心を歩くのは、それだけの価値があります。村でぜひ立ち寄りたい目立つ建築として、市庁舎、デュカル城(元はムーア人の砦城)、サンタ・マリア・デ・ラ・アスンシオ

▼ アルコス・デ・ラ・フロンテーラ
カディス





▲ サハラ・デ・ラ・シエラ
カディス

▼ ベヘール・デ・ラ・フロンテラ
カディス



ン教会などが挙げられます。村のはずれにはアルコス湖があり、自然の中で釣りを楽しんだり、水辺を散歩したり、あるいはボートやヨットなどのウォータースポーツを楽しんだりできます。

近くにある貯水湖のほとりの村、ボルノスにはリベラ家の城がある他、村の側にはイベリア人とローマ人の集落跡とされるカリッサ・アウレリアの遺跡が見られます。さらに山地の奥へ進むとフラメンコと縁の深い村、アルゴドナレスがあります。この村のギターは有名ですが、今でも手作りで生産されています。セテニル・デ・ラス・ボデガスでは、巨大な岩の下に造られた独特の住居が並ぶユニークで美しい街並みに驚かされることでしょう。

そして、遙か地平線に突出して見える塔は、サアラ・デ・ラ・シエラの城の天守閣です。聖体祭になると、この小さな村の道路や路地はすべて、緑の木の枝でびっしりと覆われ、まるで村全体が鬱蒼とした森のようになります。5世紀以上前に遡る祭典です。伝統的行事である聖体祭のミサやプロセシオン（宗教行列）の他に、この村ではユーカリ、キョウチクトウや様々な花で家の壁を飾り、道には草を敷きつめます。

山地の真ん中にはウブリケ（手作り皮革製品のパラダイス）とグラサレマの2つの街がありますが、2つとも人気のある建築と豊富な歴史遺産とが共存している村です。

もうひとつ美しい村を挙げるなら、ベヘール・デ・ラ・フロンテラでしょう。田園風景を一望できる丘の上にあり、周囲を素晴らしい壁で囲われた村です。

アンダルシア内陸部 にある、その他の白い村

マラガ県のロンダを訪ねれば、市街地を分断している深さ150メートルを超える峡谷が強烈なインパクトを与えることでしょう。スエロス（コルドバ県）、オスナやマルチェーナ（セビージャ県）も立ち寄る価値が十分ある場所です。マラガ県の海沿いには、石灰で白く塗られた家々が地中海を望む可愛らしい3つの村、ネルハ、ミハスとフリヒリアーナがあります。

峡谷には眺望が素晴らしい3つの橋が架かっていて、反対側へ渡ることができます。中世の趣とアラブの影響が残る旧市街を散策しましょう。

このルートの最後には、アルプハラ地方やサロブレニャ村（グラナダ県）、あるいはモハカル村（アルメリア県）に立ち寄りましょう。いずれの村でも、山も海も満喫することができます。

① www.andalucia.org



北スペインの漁村

断崖、入り江、海岸、森林など、素晴らしい自然がある大西洋沿岸部には、誇りを持って漁村の伝統を守り続ける村々があります。

▲ コンバーロ
ポンテベドラ

切り立った断崖が多いカンタブリア海沿岸には、趣のある漁村がたくさんあります。ガリシア（大西洋にも面している）、アストゥリアス、カンタブリア、そしてバスク地方まで、海岸線に沿って旅をすると、漁港の周りにできた独特の美しさを持つ歴史ある村々に遭遇します。

それぞれの地方には異なる魅力がありますが、すべてに共通しているのは新鮮な魚介類と上質な肉を素材にした豊かな食文化です。ガリシアのプルポ・アフエイラ（ガリシア風ゆでだこ）、アストゥリアスのファバーダ（インゲン豆煮込み）やカンタブリアの牛肉料理、あるいはバスク地方のピンチョス（伝統的な前菜）など、それぞれの地方に土地の名

物料理があり、それらを味わうだけでもその地を訪れる価値があるでしょう。

リアス・バイシャス地域のバイヨーナ（ポンテベドラ）は、趣ある旧市街が良く保存されている街ですが、新大陸発見の知らせが最初に届いた歴史的な港街でもあります。毎年3月の最初の週末には、この歴史的出来事を記念する祭り、フィエスタ・デ・ラ・アリバーダ（到着祭）が開催されます。

コンバーロは、小さいながら魅力に満ちた漁村で、村を歩くと漁師や労働者のコテージや、オレオと呼ばれる石造りの高床式食糧貯蔵倉、クルセイロと呼ばれる石造りの十字架などを見ること

ができます。いくつかある展望台からはポンテベドラ湾入り江の素晴らしい眺望を楽しむことができます。

リアス・バイシャス地域には他にもムロス、フィステーラ、ムシアなど、伝統的建築やロマネスク様式の教会が往時の姿のまま保存された小さな漁村がたくさんあります。それらの村の港や海岸からは美しい夕暮れを眺めることができますでしょう。

リアス・アルタス地域でもオルティゲイラ(ア・コルーニャ県)のような、魅力あふれる村がたくさんあります。オルティゲイラでは毎年7月第2週の週末に国際ケルトフェスティバルが開催されます。この村からはロイバの断崖まで足を延ばすことができるので、「世界一美しい景色が見られるベンチ」に腰かけて、カンタブリア海の素晴らしい眺望をご堪能あれ。ここを訪ねた観光客がベンチの背もたれに書き付けた言葉がソーシャルネットワークで拡散され、社会現象にまでなりました。

イベリア半島の最北端にあるエスタカ・デ・バレス岬にはたくさんの魅力がある場所です。そのいくつかを挙げてみましょう。例えば、ここは渡りルートの重要拠点のため、季節には多くの渡り鳥が通過します。また、ローマ帝国支配以前までさかのぼる古い歴史を持つバレス港、マニョンの村にある歴史ある灯台、そしてそこから見渡せる素晴らしい眺望などがあります。

典型的な漁港であるリバデセージャ村とリャネス村は、アストゥリアス州東部に位置しています。リバデセージャの一番の魅力は何とんでもセージャ川とそこで行われる川下りでしょう。毎年8月最初の週末に開催される国際ラフティング大会は、村をあげてのお祭りです。

リャネスを訪ねると防波堤に沿って置かれたカラフルな立方体が目を引き



リャネス
アストゥリアス

ますが、これは「記憶のキューブ」(los Cubos de la Memoria)というタイトルのアートであり、バスク人アーティスト、アグスティン・イバララの作品です。この村は、趣のある歴史地区、海沿いの散歩道、海に面したゴルフ場など、訪れたい魅力に満ちています。

アストゥリアス州で最も美しい村のひとつがクディジェーロです。山と海に面したこの村にはカラフルな色に塗られた家が立ち並んでいます。まるで、打ち寄せる波や毎日漁に出る船を観るために造られた円形劇場のようです。



クディジェロ
アストゥリアス

隣接するカンタブリア州では、港町サン・ビセンテ・デ・ラ・バルケラを訪れる旅人を無数の漁船が迎えてくれます。この村はサンティアゴ巡礼道の通過点であり、またレバニエゴ巡礼路の起点でもあります。中世の歴史遺産が豊富にあり、ピコス・デ・エウロパ連山に守られたこの村が難攻不落の拠点だった時代を思い起こさせてくれます。



▲ サン・ビセンテ・デ・ラ・バルケラ
カンタブリア

サントーニャやラレドもまた、独特の趣を持つ村です。この2つの村を結ぶ船が運行しているので、マリスマス・デ・サントーニャビクトリア・イ・ホイエル自然公園や金色の砂に覆われた長いビーチの景観を船の上から楽しむことができます。この地を訪ねたらぜひおすすめしたい2つのことがあります。ひとつは塩漬けの発祥地、サントーニャで本物のアンチョビーを食べることです。もうひとつはバタジャ・デ・フローレス(花いくさ)を観ること。これは毎年8月最後の金曜日にラレドで開催されるお祭りで、生花で飾られた様々な山車が美しさを競って練り歩きます。



サントーニャ
カンタブリア



▲ ベルメオ
ビスカヤ

そしてバスク地方(バスク語でエウスカディ)に入れば、ウルダイバイ生物保護区を囲んで位置するベルメオとエランチョベ(ビスカヤ県)という2つの美しい村があります。ベルメオ村を訪ねるのなら、すぐそばにあるサン・ファン・デ・ガステルガチェ教会は見逃せません。この教会は10世紀に陸繋がりの小島の上に造られた洗礼者ヨハネを祀った礼拝堂ですが、高い断崖の上に造られた細い階段が唯一のアクセスとなっています。数シーズンにわたってテレビドラマ『ゲーム・オブ・スローンズ』の撮影場所となったこの場所では、印象的な景色を堪能できます。マグダラのマリアの日(7月22日)には、この2つの村のすぐそばにあるもうひとつの美しい漁村であり、現在では世界的なサーフィンのメッカとなっているムンダカ村と合同で、3村が海辺の巡礼祭を開催します。エランチョベとベルメオ、ムンダカ村の人々は皆、青い衣服に身を包んで祭りに参加します。

ギプスコア県サン・セバスティアン市のすぐそばに位置するパサイアの村は昔からの漁港の姿を今も残していて、建築的に驚くような景観です。パサイア川に浮かんでいるように見える建物群や、建物の下に奇妙な通路が造られた橋のような家などです。

① www.spain.info/es/top-10/villas-marineras.html



魅力あふれる小さな村へ

中世の村

スペインは、歴史や中世の文化に興味がある方のためにあるような場所です。まるで時間が止まってしまったような細い路地や坂道、古城や砦、そんな魔法のような村々を訪ねてみませんか。

バスク地方からカンタブリア海に沿って、あるいはエクストレマドゥーラ州や内陸部の田舎まで、中世のスペインを体験できるルートをご紹介します。

中世にまで遡る歴史を持つモニュメントや建築物がある町や村を、ぜひ訪ねてみてはいかがでしょうか。

エステージャリサラ
ナバーラ



▲ オンダリビア
ギブスコア

ソス・デル・レイ・カトリコ（アラゴン州サラゴサ県）では石畳の道をたどって、いたるところに存在する歴史を感じてみませんか。町の外を歩きながら城壁を眺めると、アラゴンで最も美しい場所のひとつと言われるこの町の城壁が、どれほど大きなものかを実感できます。カトリック王と呼ばれるフェルナンド2世は、この町の切石で造られた堂々たる建築であるサダ宮殿で生まれました。

カスティージャ・イ・レオン州へと旅を続け、静かな古都、アルマサン（ソリア県）に立ち寄りましょう。プエルタ・デ・ラ・ビジャ（町の城門）を通って町の中に入り、マヨール広場へと進めば、美しい広場に面して詩人ウルタード・メンドーサー家の大邸宅やサン・ミゲル教会が建っています。

ギブスコア沿岸に位置する中世の城壁で囲まれた美しい港町、オンダリビアから旅を始めてみましょう。旧市街には石畳の細い路地が迷路のように続き、木製のバルコニーがカラフルに彩られているバスク様式の瀟洒な家が並んでいます。

ラグアルディア（アラバ県）の街は、武器を象った紋章とゴシック様式の窓に特徴がある由緒ある邸宅が並び、中世の面影を色濃く残しています。また街の地下には中世に造られた300を超えるワイン蔵があり、その多くは見学が可能です。リオハ・アラベサ地方はスペインでも名高いワインの産地です。

ナバーラ州のエステージャ（バスク語でリサラ）を訪れると、由緒あるモニュメントが豊富なことに驚かされることでしょう。サンティアゴ巡礼路の宿場町として発展したこの町には、ナバーラ王の宮殿やサン・ペドロ・デ・ラ・ルア教会のような素晴らしい芸術遺産が数多く残っています。



ソス・デル・レイ・カトリコ
サラゴサ



▲ ペドラサ
セゴビア

セプルベダとペドラサは、歴史文化財が良好な状態で保存されているセゴビアの中でも重要な中世の村と言えるでしょう。いくつもの教会や家紋を掲げた名家の邸が立ち並ぶセプルベダの村の中を散策してみませんか。また、この村は、素晴らしい景観が広がるオセス・デル・リオ・ドゥラトン自然公園へ向かう出発地点でもあります。機会があればぜひ、7月の初めにペドラサを訪ねてください。その時期の週末の夜には村中が無数のろうそくのイルミネーションで満たされ、クラシックコンサートが開催されます。

カスティージャラ・マンチャ州に足を踏み入れると、地平線のかなたにシグエンサ(グアダラハラ県)の城が見えてきます。かつては重要な砦だったこの城は、今日では改装されてパラドール(古城などを改装した半官半民の宿泊施設)となっています。村のもうひとつの見どころはゴシック様式の壮麗な大聖堂ですが、ここには若き騎士の墓があり、そのセプルクロ(石棺)はゴシック彫刻の傑作のひとつとされています。

コンスエグラ(トレド県)にある16世紀に造られた12基の風車とムエラ城のシルエットは、この村に見紛うことのない



▲ シグエンサ
グアダラハラ

独特の景観を創り出し、小説『ドン・キホーテ』の冒険を彷彿させます。毎年8月の半ばになると、英雄エル・シッドの息子が戦死した中世の「コンスエグラの戦い」を村中の人々が再現する祭りで賑わいます。

中世の村を訪ねるこのルートはエクストレマドゥーラ州も通ります。この地方のコリア(カセレス県)やオリベンサ(バダホス)などの村に立ち寄りてはいかがでしょう。コリアには中世の面影を残す石の橋、サンタ・マリア・デ・ラ・アスンシオン大聖堂、塔の部分が現存している15世紀の古城跡など、いくつもの見どころがあります。

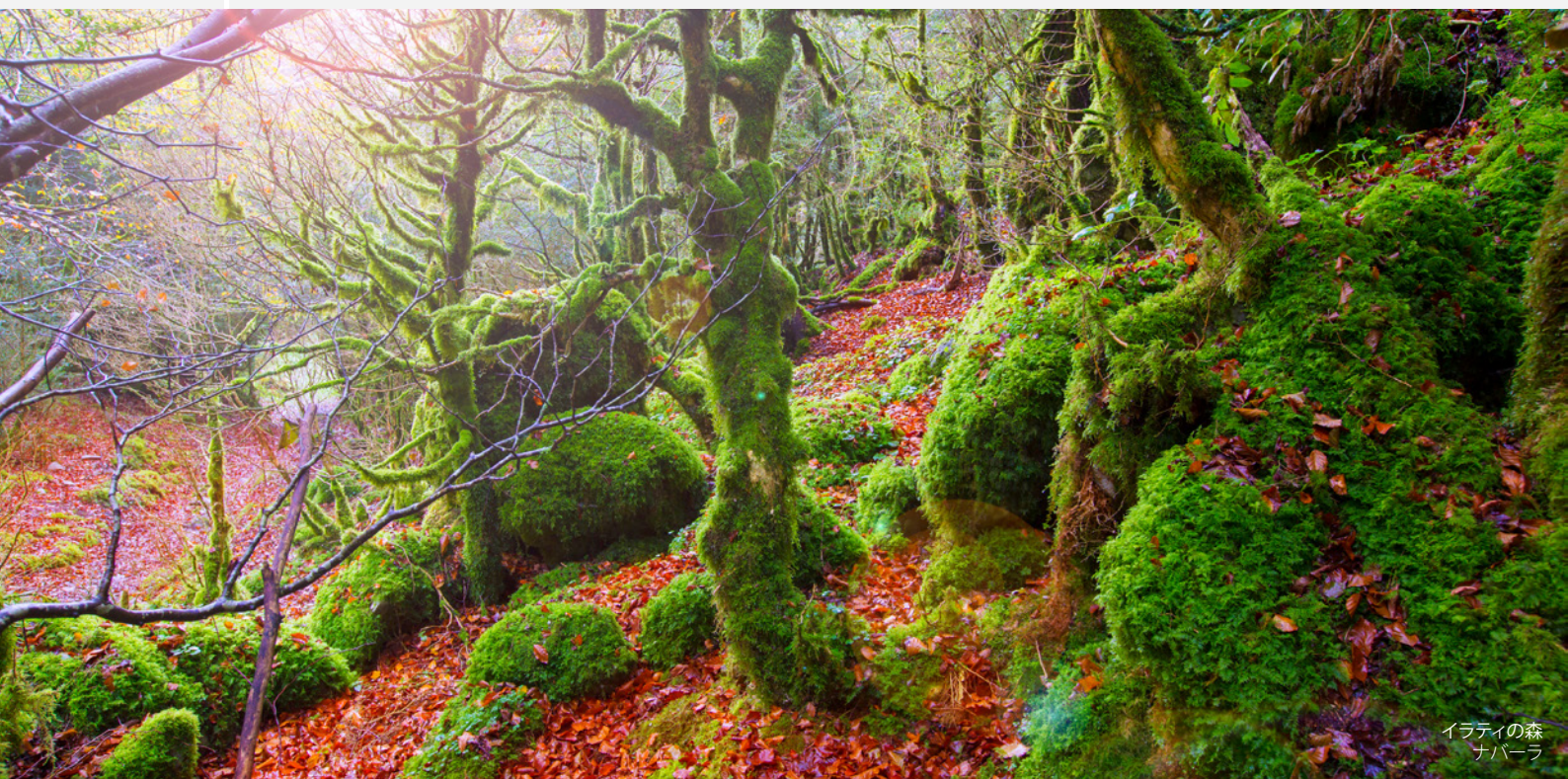
オリベンサはテンプル騎士団によって創られたポルトガルに隣接する村です。歴史文化遺産が豊富にあり、現在は民俗学博物館となっている古城や、2つの城壁などが際立っています。その他にもサンタ・マリア・マグダレナ教会やサンタ・マリア・デル・カスティージョ教会が堂々たる姿を見せていますが、後者の内部にある高さ15メートルもある樹を象った祭壇装飾は圧巻です。



▶ コンスエグラ
トレド

ピレネー山中の村

木と石とスレート。それが、イベリア半島北部、ナバーラ、アラゴン、カタルーニャの3つの自治州にまたがるピレネー山脈に点在する村々の景色を特徴づけている建材です。壮大な山々、湖や氷河の間に存在する小さな村々はまるで時間が止まっているかのようです。



イラティの森
ナバーラ

これらの村のそばには、自然保護区、渓谷、清流や断崖などがあるので、アクティブツーリズムが好きな人にはたまらない場所と言えるでしょう。このルートを旅したら、イラティの森、アイグエストルテス・イ・エスタン・デ・サン・マウリシ国立公園、あるいはユネスコの生物圏保護区に指定されているオルデサ・イ・モンテ・ペルディード国立公園などへもぜひ、足をのばしてください。素晴らしい自然に圧倒されるはずです。

豊かな食文化で有名なナバーラ県には、サンティアゴ巡礼路フランスルートの入口であるロンセスバージェスをはじめ、魅力あふれる村がたくさんあります。サンタ・マリア・デ・ロンセスバージェス参事会教会はかつての巡礼者救護所であり、剛勇王と呼ばれたナバーラ国王、サンチョ7世の墓所でもあります。その威風堂々たる建物は中世建築を代表する好例と言えるでしょう。

山やブナの林と川の間から姿を現すオチャガビア村は、ナバーラ・ピレネ

一の中で最も風光明媚な場所のひとつです。村の見どころは趣のある石畳と、ウルティア、イリアルテ、ドナマリアなどの中世の貴族の館です。少し東に足を延ばしロンカル渓谷に入ると、イサバ、ロンカル、ブルギという3つの村がありますが、これらの村で作られるチーズはぜひ食べることをおすすめしたいほど絶品です。

① www.turismo.navarra.es

アラゴン州エスカ県側のピレネー山脈の真ん中には、この地域で最も美しい中世の村がいくつかあります。まず挙げられるのが、城壁に囲まれ中世の家並みを残すアインサです。ここではインパクトのある古城跡、柱廊のあるマヨール広場、建ち並ぶ邸宅のファサードに刻まれている様々な家紋などが魅力的な雰囲気醸し出しています。毎年9月には、この街のレコンキスタ（キリスト教徒による奪回）を記念し、その様子を街中で再現する祭り「ラ・モリスマ」が開催されます。

オルデサ・イ・モンテ・ペルディード国立公園の玄関口となっている村、トルラには石畳の道に沿って分厚い石の壁で創られた大きな館が建ち並んでいます。中でもカサ・ビウと呼ばれる館は国の歴史芸術モニュメントに指定されています。

もう少し北、素晴らしい景観のテナ渓谷に入ると、トラマカステージャ・デ・テナとサンディエスという可愛らしい村々が見えてきます。この地方では水辺の風景が顕著な特徴ですが、特にサジェント・デ・ガジェゴとラヌーサは2つともダム湖であるラヌーサ湖のほとりにあるとても美しい村です。ここでは、毎年7月にフェスティバル・ピレネオス・スール（南ピレネー音楽祭）が開催されます。



トルラ
ウエスカ



アインサ
ウエスカ

美しい自然の中、湖の上に浮かぶステージ、音楽好きな人は見逃せないイベントです。

標高の高い山岳地で冬は雪が多いので、もちろんウィンタースポーツを楽しめます。また、アフタースキーのアクティビティーが充実しているスペイン有数のスキーリゾートがいくつもあります。中でもカンダンチュやフォルミガルが良く知られています。春や夏になると人気のアクティビティーはウォータースポーツ、マウンテンバイク、トレッキングに代わります。またこの地方での登山も魅力にあふれています。

① www.turismodearagon.com

カタルーニャ州のピレネー山脈への玄関口であるジローナ県に入るとまず、リポルの町があります。ここにはヨーロッパで最も大きな僧院のひとつであるサンタ・マリア・デ・リポル修道院があります。9世紀に創設されたこの修道院には庭園に囲まれた美しい回廊があり、中世の至宝と呼ばれています。

中世の美をもっと見たいと思ったら、ぜひ、ベサルにお立ち寄りください。ラ・ガロチャ地方の火山地帯の近くに位置するベサル村には、堅牢な砦橋とユダヤ人地区の細く曲がりくねった道があり、

まるで中世に時代が戻ったような気持ちになるでしょう。

フランスとの国境近く、アラン渓谷(リエイダ県)には、ビエリャをはじめとする可愛らしい村々が点在しています。中世建築の家々、ロマネスク様式とゴシック様式が融合した教会がこれらの村の特徴です。

この地方を旅したら、ピレネーの美味しい郷土料理をぜひ堪能してください。ピレネー山脈のアラゴン州側では、テルナスコと呼ばれる仔羊の肉料理やジビエ肉の料理が有名ですが、バルバストロ(ウエスカ県)のトマテ・ロサと呼ばれる大きくて美味しいトマトなどの野菜も豊富です。

ピレネー山脈のカタルーニャ州側では山の幸だけでなく、海の幸も取り入れた料理を楽しむことができます。この地方の郷土料理では各種煮込み料理、種類豊富なチーズ、そしてブティファラ・ネグラ(ブラック・プディングの一種)をはじめとする腸詰類が有名です。デザートには、この地方で採れる美味しい蜂蜜やダイネスと呼ばれるハーブ入りのクッキーをぜひお試しください。

① www.visitpirineus.com





銀の道 に沿ってある村

▲ サンタ・クリスティーナ・デ・レナ
アストゥリアス

はるか昔、古代ローマの軍隊が通った道、半島西部をほぼ縦断するこの道をたどって旅してみませんか。サンティアゴの道をたどる巡礼者のように、この道を徒歩や自転車で制覇してみてください。あるいは車やオートバイで「銀の自動車道」と呼ばれる道路を走って、美しい景色や豊かな自然を楽しむのも魅力的です。

銀の道とサンティアゴ巡礼路には多くの共通点があります。両者とも、街道沿いに非常に多くの教会があり、そこで各地方の歴史遺産や文化遺産を見ることができます。

銀の道沿いには今でも、ローマ時代の小さな岩や橋が残っています。銀の道はアンダルシア州からアストゥリアス州まで、エクストレマドゥーラ州やカステージャ・イ・レオン州を經由して続いていました。ローマ時代に造られたオリジナルの区間が今もそのまま残っている小さな村々に立ち寄ってみませんか。

銀の道は当初、エメリタ・アウグスタ（現在のバダホス県のメリダ）とアストゥリカ・アウグスタ（現在のレオン県のアストルガ）を繋ぐ道として建設されたものでしたが、その後、アストゥリアス州への入口となるレナを通る「カリサの道」と繋がり、南はセビージャから北はヒホンまでを結ぶ縦断道となりました。この美しい地域には、山々や森林に囲まれて、ローマ時代に造られた道路が現在でも残されています。

この村のもうひとつの魅力あるモニュメントはサンタ・クリスティーナ・デ・レナ教会です。ユネスコの世界遺産に認定されており、アストゥリアス地方の前ローマネスク建築の至宝と言えるでしょう。



▲ エルバス
カセレス

少し南にある村、ラ・バニェサ(レオン県)では、「銀の道宝飾品美術館」に立ち寄って、宝飾品を通して数千年前の時代へと旅してみませんか。あるいは、色彩鮮やかなカーニバルの時期に訪れ、村中の人々が衣装を着て行うパレードに参加するなどして楽しむのもよいでしょう。

川と緑豊かな溪谷と雪を頂く美しい山々に囲まれた中世の村、ベハル(サラマンカ県)に象徴されるように、この道の主役は素晴らしい自然です。守護聖人を祀るエル・カスタニャール教会まで登っていったり、池や林や素晴らしい眺望のテラスが設けられているルネッサンス様式の庭園「エル・ボスケ」を歩いてみたりしませんか。

エクストレマドゥーラ州の銀の道沿いには、エルバス、カサール・デ・カセレス、プラセンシアやサフラなど興味深い町や



プラセンシア
カセレス

村があります。いずれもぜひ立ち寄りたい場所ですが、エルバスのユダヤ人街、プラセンシアの大聖堂と城壁、サフラの「大きな広場」と「小さな広場」と呼ばれる広場などは特に見逃せません。



ブラセンシア
カゼレス

銀の道の南端に近づくと、アンダルシア州で最も古い都市のひとつ、カルモナ（セビージャ県）があります。街外れにはローマ時代のネクロポリス（墓地）遺跡があります。ペドロ王の居城だった壮麗なアルカサル（現在は宿泊施設パドール）がその頂にそびえる旧市街には、いくつもの教会や邸宅、そしてそれらを囲む城壁がこの街の歴史遺産を構成しています。

① www.rutadelaplata.com



サフラ
バダホス

▼ カルモナ
セビージャ



地中海を望む村

地中海沿岸と言うと、太陽と海とビーチを思い浮かべるでしょう。でも、白い家と石畳の通りがある船乗りたちの小さな町も魅力的です。



▲ パエリア

地中海沿岸は多様な自然に恵まれていることから、冒険心にあふれる旅人、アクティブツーリズムがお好きな方にうってつけです。ハングライダーやクライミング、サイクリングにヨット。あるいは、ダイビングで水中世界を探索したりなど、楽しみ方はたくさんあります。自然保護地区、夢のような入り江、親切な地元の人々など、好条件が揃っているので、休暇は最高のものになるに間違いありません。

カタルーニャ州からムルシア州まで、地中海沿岸の食文化があなたの味覚を喜ばせてくれることでしょう。各地方に名物料理はありますが、地中海沿いすべての地域に共通しているのは米と魚を素材にした料理で、そのバリエーションも豊富です。山の幸と海の幸の両方を素材とした料理を代表するものがパエリアです。

コスタ・ブラバ海岸では建物の白と海の眩い青が生み出すコントラストが魅力的です。画家のサルバドール・ダリが人生の大部分を過ごした町カダケスや、他にカレージャ・デ・パラフルゲルがその代表的な例として挙げられます。これらはいずれもジローナ県(カタルー

ニャ州)にあります。一階がアーチ型になっている漁師の家が海辺に建ち並ぶポルト・ボーの海岸も、そういった小さな風光明媚な場所のひとつで、一見の価値があります。

① es.costabrava.org



アルデア
アリカンテ



コスタ・ブランカ海岸には、アリカンテ県の海岸線にある小さな島、タバールカのような驚きに満ちた場所がたくさんあります。島の真ん中にある18世紀の城壁に囲まれた小さな街区を散策したり、レストランのひとつに立ち寄って伝統料理のカルデロ（鉄壺で作るパエリアの一種）を楽しんだりしてみませんか。

まるで絵葉書のような風景のアルデアもアリカンテ県にあります。丘の斜面に小さな白い家が細い道に沿って階段状に建ち並び、海まで続いている町です。趣ある歴史地区で際立っているのがコンスエロ聖母教会で、釉薬を掛けた青と白のセラミックで覆った屋根を持つ2つのドームが特徴です。

① www.costablanca.org

南に下り、ムルシア州の内陸に入ると、カラバカ・デ・ラ・クルス市がありますが、ここではイエスキリストの磔刑に使われた十字架の聖遺物が置かれていることから、キリスト教徒の巡礼の地となっています。聖遺物はこの町が広がる丘の頂に建つ堂々たるベラ・クルス聖堂に保存されており、毎年5月初めに行われるプロセシオン（宗教行列）で山車に載せられて町をめぐります。

① www.murciaturistica.es

バレアレス諸島は、コントラストに満ちた土地です。フォルネルス（メノルカ島）やポジェンサ（マヨルカ島）などの風光明媚な村を訪れると、この諸島の魅力がわかりやすいでしょう。フォルネルスは、可愛らしい港と建ち並ぶ家々の様々な形をした白いファサードが魅力の小さな漁村です。一方のポジェンサは、石畳の道に情緒がある中世の町で、豊かな自然に囲まれています。どちらにも地中海のエッセンスが生きています。

① www.illesbalears.travel

カラバカ・デ・ラ・クルス
ムルシア



写真: @murciaturistica

驚きがいっぱい、 内陸部の村

スペインは海辺の町や村が良く知られていますが、内陸部にも素敵な驚きがあなただを待っています。スペインの多様な地形が創り出す多様な風景のために、それぞれの村が独自の景観を持ち、そこに独特の神話や伝説が生まれました。この事実は、歴史遺産を訪れスペインの歴史を理解しようとしたときに役立つでしょう。

▶ マデルエロ
セゴビア



写真: Beatriz Lopez Cáceres

ラ・リオハでは、ブドウ畑と山地の間に、大きな修道院や城壁に囲まれたモニュメント、旧領主の館などのある村々が存在します。これらの中で最も美しい村として、エスカライが挙げられます。ここには花があふれるバルコニーの家並みが続く中、サンタ・マリア・ラ・マヨール教会のような教会や瀟洒な邸宅が際立って見えます。

少し南にはカラオーラの町があります。ユダヤ人が遺した文化を肌で感じ、壮麗な大聖堂に圧倒されるもよし、あるいはこの地方で生産される豊富な野菜に関する情報をインタラクティブに提供してくれる野菜博物館を訪ねるのもおすすめです。

① www.lariojaturismo.com

村の中を散策すると中世にいるかのように感じられる場所を求めているのなら、カスティージャ・イ・レオンにはそんな美しい村がたくさんあります。セゴビア県のアイジョンの町は、足を踏み入るとたちまちその魅力に取り込まれてしまいます。毎年7月最後の週末に行われる、町全体が中世を再現する祭りに遭遇すれば、感動はさらに大きなものになるでしょう。

そのすぐそば、リナーレス湖に面した丘の上にマデルエロの村があります。小さな村の中心地には、ロマネスク様式のいくつかの教会と聖堂があります。

マドリッド州には、首都マドリッドはもちろんのこと、それ以外の地域にも様々な種類の魅力あふれる場所がありま

魅力あふれる小さな村へ



す。北部の山岳地帯には、大自然の懐に抱かれた素敵な村々があります。そのひとつが、スレートを使った黒い建物が特徴の村、パトネス・デ・アリーバです。自然に囲まれているので、カヌー、トレッキング、マウンテンバイク、クライミングなど、アクティブなスポーツを楽しむのに最適な環境です。

一方で、ルネッサンス様式の王宮と壮麗な庭園で有名なアランフェスのように、深い歴史を持つ町もあります。大きな木立の並ぶ街路や広い遊歩道には、ロイヤルシアター、カサ・デ・オフィシオス・イ・カバジェロス（カルロス3世時代の王宮）、サン・アントニオ教会、メルカド・デ・アバスト（市場）などの重要なモニュメントが建ち並んでいます。

もうひとつの魅力あふれる村はチンチョンで、スペインで最も美しい広場のひとつと呼ばれる円形のマヨール広場が目を引きまます。マヨール広場は、鴨居のついた柱廊と独特な緑色に塗られた木製のバルコニーのある建物に囲まれています。

① www.esmadrid.com

カスティージャラ・マンチャ州の広大な平原、そこに建つ伝説の風車や古城は忘れ得ぬ体験をもたらしてくれるはずです。シウダ・レアル県のアルマグロの町は長方形のマヨール広場で有名ですが、ここでもバルコニーの緑色が目を引きまます。マヨール広場だけでなく、コラル・デ・コメディアスと呼ばれる17世紀に造られた大衆劇場にもぜひ立ち寄ってみてください。ここでは現在でもほぼ毎日、スペイン黄金世紀の時期の戯曲家らの作品が上演されています。この劇場では、毎年7月に世界的な古典演劇フェスティバルが開催されます。



▲ 王宮
アランフェス、マドリード

アルバセテ県では、最も古い2つの村、アルカラ・デル・フカルとチンチージャ・デ・モンテアラゴンをぜひ、訪ねてみてはいかがでしょうか。山の中腹に掘られた洞窟、斜面に建てられた家々とその間を縫うように続く細く急勾配な道が印象的です。丘の頂に建つ古城に向かって上れば、2つの村を一望できます。

① www.turismocastillalamancha.es

南西に進むと、景色はより鄙びたものになり、ムルシア高原に入ると、ムーア人が「美人」と呼んだ村、フミージャをはじめとする村々が見えてきます。フミージャはこの地方のワイン生産地をたどるルートの出発点であるだけでなく、町全体に美しい庭園があり、イベリア、ローマ、そして中世の文化遺産を見ることができます。

① www.murciaturistica.es

カナリア諸島の 伝統的な村

年間を通じて暖かな気温に恵まれているカナリア諸島。その穏やかな気候のおかげで、どの季節でも旅を楽しめます。

▲ タサコルテ
ラ・パルマ島

ビーチはもちろんですが、火山活動が創り出した風景や青々とした緑や砂漠といった自然のコントラストにこそ、この7つの島からなる諸島の魅力があります。それは、点在する伝統的な小集落だったり、白い家々が集まり象徴的な建築が際立つ歴史地区を持つ小さな村だったりしますが、いずれの場所でも島の歴史を知り、そこに暮らす明るくて親切な人々と出会うことができます。

フエルテベントゥーラ島の伝統を知るには、ベタンクリアの村を訪ねるといいでしょう。島の中の砂漠のような地域の

ひとつにあるこの村、その起源は15世紀にまでさかのぼり、歴史ある町の中心部が印象的です。

夜、星を見るのに最も理想的な場所として有名なラ・パルマ島には、16世紀や17世紀に造られた旧家の邸宅が建ち並ぶ歴史地区を持つタサコルテのような趣のある村々があなたを待っています。また、この村にはヨーロッパで唯一のバナナ博物館があります。バナナはカナリア諸島を象徴する果物であり、タサコルテの村の景色も、その主役はバナナに他なりません。

カナリア諸島で最も小さな島エル・イエロ、ここには多くの宝が隠されています。美しい海底とそこに住む多様な海洋生物はダイビング愛好家にとってまさにパラダイスと言えるでしょう。島の南東に位置するエル・ピナル村は、火山活動によって作られた地形を広い松林が囲んでいます。村の静けさを満喫しながら、手工芸品を見て歩くもよし、タナハラなどの展望台から素晴らしい眺めを楽しむのもよいでしょう。

ランサロテ島のテギセは、最も高い建物である教会に向かって幾筋もの細い道が延び、瀟洒で風格のある館が建ち並ぶ趣のある町です。毎週日曜日には青空市が開かれ、ショップや手工芸品の屋台店が並ぶ通りはカラフルに彩られます。

テネリフェ島には自然が作り出した素晴らしい景観を楽しめる場所がたくさんあります。代表的な場所として、ロス・ヒガンテスの断崖のすぐそばにあるサ

▼ ロス・ヒガンテスの断崖
サンティアゴ・デル・テイデ、テネリフェ





▲ ラ・オロタバ
テネリフェ

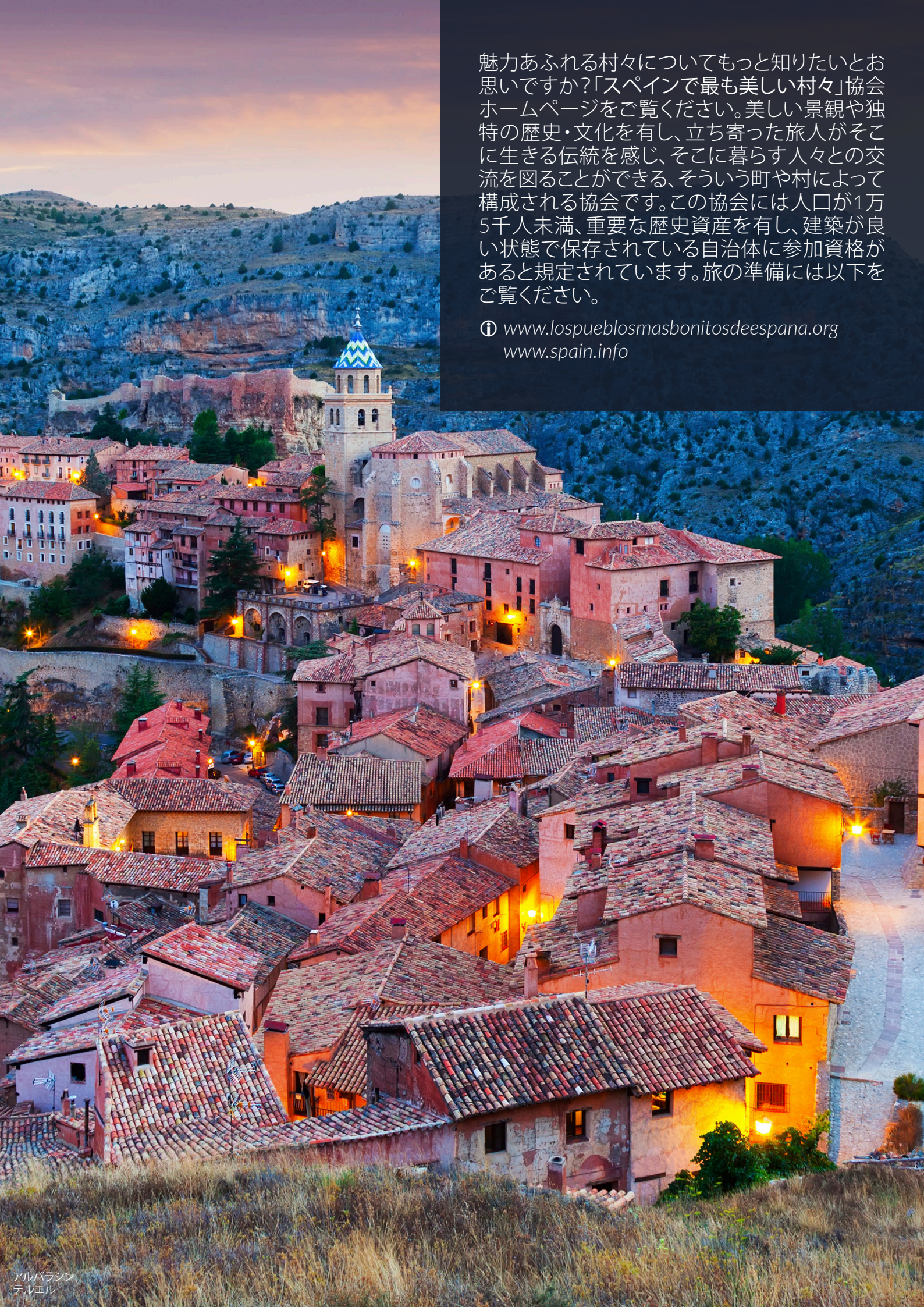
ンティアゴ・デ・テイデや、スペインで最も高い山で休火山であるテイデ山を囲む国立公園の玄関口となっているラ・オロタバが挙げられます。オロタバは伝統ある美しい町で、毎年、聖体祭には町中の通りや広場が花の絨緞で覆われることで有名です。

グラン・カナリア島でも、特別な趣のある場所があります。島の北部の村、アルカスではカラフルなファサードが建ち並ぶ通りを散策し、威風堂々たるサン・ファン・バウティスタ教会を訪ねてみませんか。島の南にあるプエルト・デ・モ

ガンは、鮮やかな色で縁取りされた白い建物、花々があふれる庭園、入り江に架かる趣のある橋など、まるで小さなヴェネツィアのようなようです。

一方、ラ・ゴメラ島の首都、サン・セバスティアンは、コロンブスが新大陸を発見した旅の重要な中継地となった場所です。この町の情緒ある歴史地区には、新大陸発見以前の芸術コレクションを収蔵しているミュージアム、「コロンブスの家」があります。

① www.holaislascanarias.com



魅力あふれる村々についてもっと知りたいとお
思いですか?「スペインで最も美しい村々」協会
ホームページをご覧ください。美しい景観や独
特の歴史・文化を有し、立ち寄った旅人がそこ
に生きる伝統を感じ、そこに暮らす人々との交
流を図ることができる、そういう町や村によって
構成される協会です。この協会には人口が1万
5千人未満、重要な歴史資産を有し、建築が良
い状態で保存されている自治体に参加資格が
あると規定されています。旅の準備には以下を
ご覧ください。

① www.lospueblosmasbonitosdeespana.org
www.spain.info



 @spain

 @spain

 Spain.info

 /spain